

入学者受入の方針（アドミッション・ポリシー）：農学部

1 学部概要 ※各学科分は後述

農学部は、幅広く深い教養と豊かな人間性を基礎として、農学の重要分野である植物生命、応用生物化学、森林科学、食料生産環境、動物科学、獣医学の専門分野における、基礎的・応用的な専門知識と技能を修得することにより、地域および国際社会の食料・生命・環境の諸問題の解決に貢献できる人材の養成を目的としています。

2 入学者に求める資質（求める学生像） 《学部共通部分》 ※各学科分は後述

(1) 知識・理解

- ・ 農学分野の自然科学、生命科学、社会科学等を学ぶに相応しい基礎学力を有する人

(2) 思考・判断

- ・ 農学分野に関するグローバルな問題を地域の視点から論理的にとらえる思考力を有する人

(3) 関心・意欲・態度

- ・ 生命の尊さを知り、食料生産技術や生物資源の開発と利用について専門的知識を修得する意欲のある人

(4) 技能・表現

- ・ 農学分野に関する論理的思考力を有し、持続可能な社会の実現に向けて行動できる人

3 入学前に修得しておくことを期待する内容 《学部共通》

- ・ 理科，数学—内容の理解と応用力
- ・ 英語，国語—基礎的な読解力，表現力，文章力
- ・ 地歴・公民—基礎的内容の理解

※ 具体的な履修要件や入試科目は、入試区分や学部等毎で個別に示しますので、各募集要項で確認してください。

4 入学者選抜の基本方針 《学部共通》

(1) 一般入試（前期日程）

大学入試センター試験で「知識・理解」「思考・判断」を評価します。個別学力検査ではこれらに加え「技能・表現」を評価します。

(2) 一般入試（後期日程）

大学入試センター試験で「知識・理解」「思考・判断」を評価します。個別学力検査では「思考・判断」「技能・表現」を評価します。

(3) 推薦入試Ⅰ

小論文試験で「思考・判断」「技能・表現」を評価します。面接および出願理由書では「関心・意欲・態度」を、調査書では「知識・理解」を中心に総合的に評価します。

(4) 推薦入試Ⅱ

大学入試センター試験で「知識・理解」「思考・判断」を評価します。面接および出願理由書では「思考・判断」「関心・意欲・態度」「技能・表現」を評価し、調査書では「知識・理解」を中心に総合的に評価します。

(5) 私費外国人留学生入試

日本留学試験で、日本語力を含めて「知識・理解」「思考・判断」を評価します。面接および出願理由書では「関心・意欲・態度」を評価します。

【植物生命科学科】

1 学科概要 ※学部分は上記参照

植物生命科学科では、植物および昆虫の生命現象と農学に関連する生命の機能を解明するための基礎知識を生物学や化学的な観点で学習します。さらに、農産物や農業生物を有益な資源として生かすために生命科学技術ならびに論理を学びます。

2 入学者に求める資質（求める学生像） 《学科分》 ※学部分は上記参照

(1) 知識・理解・思考・判断

- ・ 生命機能の解明や生命資源利用を学ぶに相応しい基礎学力を有する人
- ・ 生命科学や生命資源の可能性を数量的・論理的に推理・解析できる分析力を有する人

(2) 関心・意欲・態度・技能・表現

- ・ 食料の安定供給と環境負荷低減を両立させる戦略・論理・技術を学ぶ意欲のある人
- ・ 新たな生命現象や未利用資源に関する成果を社会へ還元する行動力のある人

【応用生物化学科】

1 学科概要 ※学部分は上記参照

応用生物化学科では、生命の現象、食品素材の特性、生物圏での物質の動きを理解するための基礎知識を化学的な視点から学習するとともに、それらに関連する実験技術を修得します。これらをもとに、微生物・動物・植物資源の有効利用や生物機能の応用についても学びます。

2 入学者に求める資質（求める学生像） 《学科分》 ※学部分は上記参照

(1) 知識・理解・思考・判断

- ・ 生命現象の解明と応用を学ぶに相応しい基礎学力を有する人
- ・ 食品素材特性の解明と応用を学ぶに相応しい基礎学力を有する人
- ・ 生物圏での物質の動きの解明と応用を学ぶに相応しい基礎学力を有する人

(2) 関心・意欲・態度・技能・表現

- ・ 微生物や酵素の高度利用について専門的知識を修得する意欲のある人
- ・ 健康と食品機能について専門的知識を修得する意欲のある人
- ・ 食料生産と生物圏の化学的な解明について専門的知識を修得する意欲のある人

【森林科学科】

1 学科概要 ※学部分は上記参照

森林科学科では、東北地域の恵まれた自然環境を背景として、森林の持つ多様な環境保全機能や樹木資源の生産と利用、自然生態系の保全・管理、防災を含めた幅広い分野について総合的に学びます。これらをもとに、自然との共生関係を築きながら発展できる地域社会の実現に貢献する人材を育成します。

2 入学者に求める資質（求める学生像） 《学科分》 ※学部分は上記参照

(1) 知識・理解・思考・判断

- ・ 森林科学を学ぶに相応しい基礎学力を有する人
- ・ 多様な機能を活かした森づくりと利用・保全に関する知識と技術の修得に相応しい基礎学力を有する人

(2) 関心・意欲・態度・技能・表現

- ・ 森林の多面的機能を最大限に発揮できる森づくりに必要な知識と技術について学ぶ意欲のある人
- ・ 森林里山地域の自然生態系に配慮した適切な資源の利用と管理について学ぶ意欲のある人
- ・ 再生可能資源である木質バイオマスの総合的かつ持続的利用法について学ぶ意欲のある人

【食料生産環境学科】

1 学科概要 ※学部分は上記参照

食料生産環境学科では、農業の生産基盤の整備や生活環境の向上、農村の生態系、文化・景観の保全や災害に強い地域づくり、食を取り巻く環境の急速なグローバル化および農業就業人口の減少や高齢化に対応する食料生産技術の高度化、農産物の保存・流通、6次産業化、農業経営の高度化、さらに持続可能な水産資源の管理や漁獲・増養殖、加工技術の改良と開発、グローバルな視野に立った新たな流通体系などの科学と技術を学びます。

2 入学者に求める資質（求める学生像） 《学科分》 ※学部分は上記参照

<農村地域デザイン学コース・食産業システム学コース>

(1) 知識・理解・思考・判断

- ・ 農業生産基盤の整備と農村環境の保全，地域振興に関して学ぶに相応しい基礎学力を有する人
- ・ 食料生産技術，農産物の保存・流通，6次産業化，および農業経営に関する知識と技術の修得に相応しい基礎学力を有する人

(2) 関心・意欲・態度・技能・表現

- ・ 農村地域の持続的発展のために，地域資源の適切な利用・管理と農村環境の保全，および地域振興について多面的に学ぶ意欲のある人
- ・ 食料生産環境の科学的な解明や，農作業の快適化と効率化，農産物の保全と流通システムの構築，農業廃棄物の有効利用に関する理論と技術を学ぶ意欲のある人
- ・ グローバル化に対応した農業経営の高度化，グリーンツーリズムや観光を含めた農業の6次産業化や農業情報の利活用について学ぶ意欲のある人

<水産システム学コース>

(1) 知識・理解・思考・判断

- ・ 水産資源の管理・生産，その利活用，流通・販売に関する自然科学・社会科学の広い学問領域を学ぶに相応しい基礎学力を有する人
- ・ 日本と世界の水産業の持続的発展の問題解決に必要な基礎的な思考・判断力を有する人

(2) 関心・意欲・態度・技能・表現

- ・ 三陸地域の社会と水産業に関心を持ち，東日本大震災からの復興と水産業の課題に取り組む意欲のある人
- ・ 日本と世界の水産業の持続的発展の諸課題に関心を持ち，問題解決に取り組む意欲のある人
- ・ 水産業に関わる専門家としての高い倫理観を持ち，真摯に責任をもって持続的水産業構築の諸課題について積極的に携わる態度を備えた人

【動物科学科】

1 学科概要 ※学部分は上記参照

動物科学科では，産業動物，実験動物，野生動物，展示動物などの様々な動物種および飼料作物などを対象に，広く生命科学の基礎知識を学習するとともに，関連した実験技術を修得します。これらをもとに，人と動物が共生する地域社会の創造や動物関連産業の発展，生命科学の発展に貢献できる国際的視野を持った人材を育成します。

2 入学者に求める資質（求める学生像） 《学科分》 ※学部分は上記参照

(1) 知識・理解・思考・判断

- ・ 生命現象の解明と応用を学ぶに相応しい基礎学力を有する人
- ・ 動物生産および動物科学に関する知識と技術の修得に相応しい基礎学力を有する人

(2) 関心・意欲・態度・技能・表現

- ・ 動物科学への強い関心を有し，課題の探求と解決に取り組む意欲のある人
- ・ 動物に関連した産業の諸問題の探求と解決に取り組む意欲のある人
- ・ グローバルな視点から，動物に関連した産業の持続的発展に積極的な意欲を有する人

【共同獣医学科】

1 学科概要 ※学部分は上記参照

共同獣医学科は，獣医師は人類と動物の健康と福祉に貢献するという理念に基づき，高度獣医療の提供，人類の健康と食の安全，生命科学研究の発展に活躍できる国際的な視野を持つ人材を育成します。

2 入学者に求める資質（求める学生像） 《学科分》 ※学部分は上記参照

(1) 知識・理解・思考・判断

- ・ 獣医学を学ぶに相応しい基礎学力を有する人
- ・ 動物の生命現象と病態に関する課題を探求し、グローバルな視野から論理的に解決する思考力を有する人

(2) 関心・意欲・態度・技能・表現

- ・ 動物の生命現象と病態に関心を持ち、それを継続して探求しようとする意欲のある人
- ・ 自己を啓発し実行力に優れ、獣医学の発展ならびに社会に貢献しようとする意欲のある人
- ・ 獣医師として、国際的な交流・協力を推進し、世界に学び世界に貢献しようとする意欲のある人

<別表> 検査方法と評価要素

(1) 入学者選抜方法ごとの選抜内容

入学者選抜方法	該当入試区分	選抜内容
小論文	推薦Ⅰ 一般（後期）	文章を客観的に読解把握する力や、内容に対する自らの考え方を述べる力を検査します。
個人面接	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ 私費外国人	複数の面接担当者による個人面接を行います。加えて推薦Ⅱでは、当日提示される課題に対して自らの考えを説明する面接を行います。
出願理由書	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ 私費外国人	入学を希望する理由を本人が記入します。
調査書*	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ	学習の記録を中心に総合的に評価します。

(2) 入学者選抜方法ごとの重点評価項目

入学者選抜方法	該当入試区分	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現
(センター試験)	一般（前期）				
	一般（後期）	○	○		
	推薦Ⅱ				
個別学力検査 <教科>	一般（前期）	○	○		○
	一般（後期）				
小論文	一般（後期）		○		○
	推薦Ⅰ				
個人面接	推薦Ⅰ 私費外国人			○	
	推薦Ⅱ		○	○	○
出願理由書	推薦Ⅰ				
	推薦Ⅱ			○	
	私費外国人				
調査書*	推薦Ⅰ	○		○	
	推薦Ⅱ				
(日本留学試験)	私費外国人	○	○		

*一般入試（前期日程）、一般入試（後期日程）においては、調査書は総合判定時の参考とする。